

上町台地・水先案内

日時： 2011年7月4日(月)～2011年11月11日(金)10時～17時頃

場所： 大阪ガス実験集合住宅 NEXT21 内 1階北 U-CoRo ウィンドウ
大阪市天王寺区清水谷町 6-16(地下鉄「谷町六丁目」駅 7号出口徒歩 5分)

■企画の趣旨

清水谷、細工谷、桃谷…。味原池、庚申池、毘沙門池…。利休井、越中井、梅の井…。

数々の谷筋が刻まれ、大小の池が点在し、湧水に恵まれた、水の都の原点・上町台地。台地を潤す水脈が、緑を育み、人を呼び寄せ、いのちと生業を支えてきました。意外と思われるかもしれませんが、古地図を手にまちをめぐれば、コンクリートに覆われたまちの深層に、今もその原風景が脈々と生き続けていることに気づかされます。

上町台地の水先案内。目を凝らし耳を澄ましてみれば、原風景への入り口は、まちのそこそこに顔を出しています。路地の奥に生まれた田んぼから、社寺や旧家に息づく井戸から、ビルの足元に眠る池の跡・川の跡・橋の跡から、はたまた名水が生んだお酒から…。移り変わる都市の風景のなかで、だからこそ人とまちを大切につないでいきたいと願う水の縁が蘇ってくるようです。

U-CoRo ウィンドウ・エキジビション第 14 弾となる今回の展示「上町台地・水先案内」では、水とともに生きてきたまちの記憶をたどり、その流れを未来へつなぐ旅へとかけます。上町台地の深層を流れるつながりに触れ、欠くことのできない水の縁に出会っていただくことができましたら幸いです。



主催： 大阪ガス エネルギー・文化研究所(CEL) 企画： U-CoRo プロジェクト・ワーキング
問合せ先： 06-6205-3518(担当:CEL 弘本)

協力： 足代健二郎さん、飯田郁子さん、浦野院次さん、圓妙寺、オダギリサトシさん、桂田秀人さん、加瀬敏夫さん、環境デザイン事務所 素地、神田晃治さん、高津宮、幸念寺、原点の会、五條宮、澤田孝治さん、玉造稻荷神社、西代官山クラブ、富士原純一さん、和想デザイン、そのほかのみなさま(50音順)

■主な展示内容

◎ 上町台地・水先“地理”案内

「水都」といえば、だれもが思うのは中之島あたりや道頓堀など、上町台地の西側。しかし、台地上や台地東側にも「水都」だった名残があちこちにあります。

かつての風景を今でも透かし見ることができるのが地図や地形です。今水系を映す台地模型や、堀川や井路川が網の目のように描かれた古地図、見慣れぬ色彩の土地条件図、そして防災マップ。

それらの展示を通して、まさしく「水都・大阪」の原点としての、上町台地の姿をご紹介します。

◎ 台地を潤す水、脈々とつながる人、水と生きるまち

水を通して上町台地とまち、そこに生きる人を映し見ることが試みたドキュメント展示です。たどった水脈は12本。今も水が湧き、流れ、用いられているところもあれば、すでに記憶のなかにしか、水の音や水面のきらめきをみることのできない幻の水脈もあります。

水を通じた出会いのなかで、お聞きした言葉や思い出話などをもとに、パネルを構成しています。また、12本の水脈のほかに、上町台地の水のスポット10カ所もご紹介しています。

水脈から蜃気楼のように浮き立つ上町台地。台地を潤す水、脈々とつながる人、そして水と生きるまちへ、滴をたどるようにご覧いただけます。



※ 会期中の平日上記時間帯には、展示内容を紹介したミニリーフレットを配布しています。